

授業科目名	看護学概論	担当教員	休波茂子
必修	開講年次：1年前期	単位：2単位	授業形態：講義 30時間

【授業概要】

医療と看護の原点である命や健康についての考察をし、ヘルスケアシステムを展望して、専門職である看護とはどのような職業であるかを考察する。看護の本質と理念にはどのような視点があり、どのように発達して現代に至ったのかについて紹介する。ヒューマンケアの基本に関する実践の基礎知識として、人間への愛と尊厳の重視と人権の擁護や倫理を基本に捉えた援助行動に備えて、多様な看護の視点を探求し、自己の看護観の形成への準備とする。

【授業目的・目標】

1. 看護師として育っていくための指針となる知識を紹介する。
2. 看護の本質と理念について理解し、看護の対象の広汎性を探求する。
3. 看護学の基礎的概念（人間、環境、健康、看護）について理解する。
4. 実践科学としての看護学とその発展について看護概念モデルを中心に学習する。
5. 看護の本質と基本的理念、人間に対する愛と尊厳、健康、ケアリングの意味を自己の言葉で表現できる。
6. 看護師に求められる倫理的態度について習得する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 看護とは、看護学とは
- [02] 現代の看護の定義と看護モデル
- [03] 主要な看護モデルと看護理論（1）－ニード論及び相互作用論－
- [04] 主要な看護モデルと看護理論（2）－システム論－
- [05] 主要な看護モデルと看護理論（3）－全体論－
- [06] 看護の歴史、ナイチンゲールと看護の歴史
- [07] 人間と環境　－グループ討議－
- [08] 人間と環境　－グループ発表－
- [09] 看護の対象としての「人間と環境」
- [10] 健康の概念、人々の健康の状態
- [11] 看護の4つの概念（人間、健康、環境、看護）
- [12] 保健医療提供システムと看護
- [13] 看護の機能と看護活動
- [14] 看護活動と倫理的看護実践　看護理論を通して看護を考える（グループ発表）
- [15] 看護のマネジメントと看護管理

【教科書】

1. 志自岐康子他編集（2017）基礎看護学① 看護学概論 第6版，MCメディカ出版

【参考書】

1. 松木光子編集（2011）看護学概論第5版，NOUVELLE HIROKAWA
2. 松木光子他編集（2012）看護理論－理論と実践のリンケージ－，NOUVELLE HIROKAWA

【評価方法・評価基準】

筆記試験：80%、課題レポート10%、グループ発表10%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された課題の記述、教科書による予習

事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習

【教育目標との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ．質の高いケアを実践するためのリーダーシップ能力、Ⅲ．根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ．多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ．生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポートなどに関するフィードバック】

試験や課題レポートについては1年後期に返却予定

【備考】

この科目は看護学分野の基本的な知識の基礎となるためキーワードとなる用語や定義は必ず理解しておくこと。